

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学Ⅲ		講義	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法において、運動に対する生理反応を理解することは極めて重要である。本講義では、解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡで学んだ内容を基礎として、運動に対する生理反応を中心に学習を行う。特に循環系、呼吸系、代謝系における生理反応、神経系、筋活動の基本的知識を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡで学んでいる基礎的な内容を説明することができる。 2. 運動における循環系、呼吸系、代謝系の生理反応、神経系、筋活動を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	運動と循環系(1) 循環系基礎			
2	運動と循環系(2) 運動と循環反応			
3	運動と循環系(3) 運動と循環反応			
4	運動と呼吸系(1) 呼吸系基礎			
5	運動と呼吸系(2) 運動と呼吸応答			
6	運動と代謝			
7	運動と代謝 体温調節			
8	運動と循環系、呼吸系、代謝系 解説			
9	運動と神経系(1) 神経系基礎			
10	運動と神経系(2)			
11	運動と筋活動(1) 運動と骨格筋・筋収縮のメカニズム			
12	運動と筋活動(2) 運動単位・筋収縮の種類と張力曲線			
13	運動と筋活動(3) 運動とエネルギー代謝			
14	運動と神経系、筋活動 解説			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	85%			
レポート・課題	10%	課題の実施内容、および提出状況（提出期限・方法の厳守）		
小テスト				
平常点	5%	授業態度（忘れ物・居眠り含む）・取り組む姿勢を総合的に評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載	随時資料を配布する（ファイルしておくこと）。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
生理学テキスト		大地陸男	文光堂	
自由記載	解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡの教科書や配布資料にて復習しながら受講すること。			
備考				
解剖学ⅠⅡ資料（解剖学講義ノート）、生理学ⅠⅡ資料を持参する（単元毎に指示する）。				